

□議員名：岡山 明

1 バリアフリー化の取組について

論点	不二輸送機ホール等にエレベーターが設置されているが、視覚障害者を誘導する設備（点字ブロック等）を設置する考えはどうか。
回答	現在エレベーター内に手すりや鏡の設置、操作盤に点字表示はあるが、誘導するための点字ブロックは設置していない。老朽化に伴う中長期整備計画を策定する中で、必要となるバリアフリーの概念を取り入れたいと考えている。

論点	不二輸送機ホールへのステージの昇降段に手すりを設置する考えはどうか。
回答	手すりがあることで、イベント内容によってお客様に支障が出ることがある。しっかりと安全性が確保された取り外し可能な手すりを今後、早急に設置したいと考えている。

論点	各地域交流センターの入口には高低差があるため、階段、スロープが設置されている。場所によっては手すりも設置しているが、設置基準は何かあるか。
回答	バリアフリー新法や県の福祉まちづくり条例施行以前の建物についても、スロープは設置されているが、勾配等の基準の適合状況については様々であり、今後しっかりと調査を行う。

論点	山口市においてはバリアフリー基本構想、宇部市においてはバリアフリー化マスタープランが制定されている。連続性を確保した一体的なバリアフリーの考え、方針はどうか。
回答	公共施設の新築時においては、山口県福祉のまちづくり条例に準じたチェックリストを活用し、バリアフリー基準に適合しているかを確認している。バリアフリー基本構想等については新たに整備する計画はない。

論点	言語バリアフリー化の一環として、ごみ収集カレンダーや家庭ごみ
----	--------------------------------

	の出し方を別の言語で希望される方はどの程度いるか。
回答	本市に住んでいる外国人の方の人数は、令和4年6月1日現在、市内に滞在されている外国人については、世帯数では532世帯、このうち男性が386名、女性が340名、合計で726名の方が滞在されている。割合にすると、全人口の約1.2%となる。

論点	アパートの住民と管理者との間で、ごみ問題等でトラブルが発生しているようだが、外国版のごみ収集カレンダー等、周知徹底、推進は図られているか。
回答	英語版とやさしい日本語版のごみ収集カレンダー等は、ホームページからダウンロードできるようにしているが、周知徹底という意味では必ずしも十分ではないと考えている。関係部署間で協議を行い、有効な周知方法について模索していきたいと考えている。

2 公共施設での喫煙について

論点	埴生地域交流センター、支所、児童クラブが一体となった施設が敷地内禁煙になった大きな要因は何か。
回答	第2種施設として認識しているが、敷地内禁煙の理由としては、まずは、埴生小中学校と隣接していること、当施設の中に埴生児童クラブを併設していること、これらのことを踏まえて、利用者の方に御理解いただき、敷地内禁煙としている。

論点	中央図書館は、令和2年4月から敷地内禁煙になった。方向転換の要因は何か。
回答	令和元年の9月の議会では、子供たちの利用率が少ないとの回答だったが、やはり受動喫煙による健康の影響が子供たちには大きいことが第一義であり、これを理由として、令和2年4月から屋外の喫煙場所を撤去し、敷地内禁煙とした。

論点	厚狭複合施設には1か所、喫煙場所がありますが、今後、全面敷地内禁煙にする方向性があるかどうか、伺う。
----	--

回答	<p>厚狭複合施設については、山陽総合事務所、保健センター、厚狭図書館、厚狭地域交流センター、四つの施設で構成している。施設の性格上、多様で大変多くの方が利用されている。このため、敷地の東側屋外に、区画を設け、標識を設置した指定喫煙場所を1か所設けている。今後の方向性としては、利用者の方の意見等も伺いながら、検討していく。</p>
----	--

論点	<p>現在、本庁舎に喫煙場所が4か所ある。平成29年の質問のときも同じ4か所、一つでも減らしていただきたいと思うがどうか。</p>
回答	<p>本庁舎には特定屋外喫煙場所が4か所ある。これは、本庁舎は敷地が広く、建物が複数あるため、市役所を御利用する方、職員など、利用者ごとに場所を確保している。近年改修工事中であることや、新型コロナウイルス対策も踏まえて、複数か所設置している。今後、改修事業が完了すれば、感染状況を見極めながら検討する。</p>